

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	トクテイヒエイリカツドウホウジンアートインアシビナー ----- 特定非営利活動法人アートインAsibina		
代表者職・氏名	理事長 下山 豊子		
制作団体所在地	〒 160-0023		
	東京都新宿区西新宿7丁目1番7号 新宿ダイカンプラザA1018		
電話番号	03-6403-5158	FAX番号	03-6893-3931
ふりがな 公演団体名	トクテイヒエイリカツドウホウジンアートインアシビナー ----- 特定非営利活動法人アートインAsibina		
代表者職・氏名	理事長 下山 豊子		
公演団体所在地	〒 160-0023		
	東京都新宿区西新宿7丁目1番7号 新宿ダイカンプラザA1018		
制作団体 設立年月	2004(平成16)年 7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長兼芸術監督 下山(西田)豊子 理事兼プロデューサー 下山久口 理事 大城将保・坂本義美・		正会員: 目的に賛同して入会する個人及び団体 賛助会員:目的に賛同して賛助するために入会 する個人及び団体
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	小西 征輝・下川 瑠美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	藤山 泰代

<p>制作団体沿革</p>	<p>平成16年 特定非営利活動法人として東京都より認可を受ける。 児童青少年演劇の創作上演事業及び教育ワークショップ事業を柱として活動を開始 各地の公立文化施設の市民参加プログラムや学校授業の演出・指導者派遣も開始 また、芸能実演家のための芸団協表現教育指導者セミナーの主任講師派遣も継続 同17年～21年 文部科学省委託「居場所」事業(首都圏と北海道)・「0,1,2歳児のための演劇」 「フォーラムシアター」「発達障害児の発達支援アートプログラム」等の研究・開発・実践を 開始。また、海外との共同制作(「紙のおとぎ話」「Looking for Yogurt」)を実施。 同22年 文部科学省の略称「コミュニケーション教育授業」開始、継続実施中。 講師派遣のニーズは増え、理事長西田を中心に講師として多岐に派遣。 同24年 プロデューサー下山久が芸術選奨文部科学大臣賞を受賞 同27年 「お月さまがみていたおはなし～アンデルセンより～」芸文基金助成で初演 同31年度 コミュニケーション能力向上事業で都内5小学校12学年39回を実施 同31年3月 斎藤隆介作「モチモチの木」東京都ふれあいこどもまつりにて初演</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成16年 「ねこはしる」(工藤直子原作)首都圏の小・中学校演劇鑑賞教室にて上演。 現在ロングラン上演中。 同22年より 「紙のおとぎばなし」(日露共同制作)首都圏の小学校演劇鑑賞教室にて上演。 現在上演中。 同25年～ 北海道巡回小劇場(道教委・市町村教委主催)で上記2作品を上演 同26年 芸術文化振興基金助成事業で「ねこはしる」山口県内の小・中学校にて上演 同27年 東京都島嶼芸術文化振興事業で「紙のおとぎばなし」新島・式根島にて上演 同28、29年 長野県内の小・中学校にて上記2作品上演 同30年～ 「お月さまがみていたおはなし」都内の小学校にて上演開始。現在上演中。 令和2年 芸術文化振興基金助成事業で「モチモチの木」上演</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度「文化芸術による子どもの育成事業」で静岡県立沼津聴覚特別支援学校にて「ねこはしる」ワークショップと公演。 ・平成30年度同上事業にて山梨県立わかば特別支援学校ふじかわ分校にて「ねこはしる」ワークショップと公演。 		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=y6YmZ85vZAA</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人アートインAsibina】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	～詩と音楽とドラマの劇場～「ねこはしる」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「ねこはしる」 原 作:工藤直子 構成演出:西田豊子 音 楽:佐藤容子 振 付:神崎由布子 美 術:西山三郎 ストリングライ指導・協力:水嶋一江/スタジオ・イヴ 公演時間(60 分)			
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	【あらすじと作品について】 雪深い山村に生まれた、のろまな子ねこ「ラン」は、池の「魚」と友だちになり、自然界の沢山の生命に見守られ、逞しく成長していきます。しかし、満月の夜、兄弟たちとの「魚とり競争」が行なわれ、ついに親友の魚と闘うことに。「いのちとは?」「出会いとは?」「友情とは?」「死とは?」…? 子どもたちは観劇を通じ、「もし自分がランや魚だったら…」と、言葉や知識だけでは容易に解けないこの根源的な問いに自分自身を重ね合わせ、真剣に、また深い共感を込めて向き合ってくれます。それは子ども達の生涯を通じ、「生きる」尊さと「つながる命」を示唆する心の財産となるに違いないと、1400回を超える上演を通じて確信しています。 【構成】 のろまな子ねこと一人ぼっちの魚の希有な友情と成長を、3人の俳優が観客に直接語りかけながら、ストーリーテリングとドラマシーン、歌、生演奏、ムーブメント等、多彩な表現方法を駆使。20ものキャラクターを演じ分け、観客の想像力をかき立て共感を築く構成です。 原作は、詩人工藤直子さんの、易しい言葉で描かれた美しく感動的な詩物語です。 【みどころなど】 俳優たちの、感情豊かな音声による歌と語りや、いきものたちの命のリズムを伝え想像力をかき立てる身体表現。絹糸による創作楽器ストリングラフィやオカリナなどの生演奏。自然界の色彩をシンボリックに伝える舞台美術などなど。詩と音楽と演劇が一体となり、緻密で完成度の高い舞台として親しまれ続けて来た作品です。			
演目選択理由	◆演劇は、言葉や知識だけでは容易に解くことのできない問いを、想像力を介して体験し味わうことができる芸術。「ねこはしる」の原作には、「いのち」「生」「死」そして「友情」といった、誰もがいつかは出会う哲学的問いが、美しくしかも簡潔に描かれています。その原作を俳優が生身の身体や声で演じることにより、子どもたちが、想像力を介し体験し感じえる、演劇ならではの魅力を備えている点が、本作品を選択した第一の理由です。 ◆第二は「ことばと自然の音楽性」に注目した作品であること。劇中随所で、身近な材料で作られた創作楽器による「ME(音楽的効果音)」の生演奏と、俳優の声による「オノマトペ(擬音・擬態語)」が、自然界の様々な音を表現します。観客の言語的及び音楽的感性に働きかけ、高めるものと期待します。 ◆第三は原作の東洋的自然観と生命哲学を、児童青少年向けに奥行き深く作品化していること。つまり、陸で生まれた子ネコと水中に生きる魚の出会いを発端に、動植物はもちろん「大地」「風」「太陽」「池」などまで、彼らを見守る自然界の登場人物たちが言葉を発し観客に語りかける…。地球規模の環境や持続可能な世界の探求という、21世紀的視点も含まれています。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【共演シーンについて】 1)ワークショップに参加した児童生徒が、オープニングで俳優たちと共に、創作ミニドラマ「のはらものがたり」を上演。そのことにより、本編公演「ねこはしる」の背景「のはら」が、体育館に現れる趣向です。 2)その学校オリジナルの「のはらものがたり」は、観客席の児童・生徒のイメージも豊かに揺さぶって、観劇への素晴らしき導入へ。 3)共演する児童生徒の参加方法は以下ようになります。 ◆パフォーマンスチーム◆ 声と身体で、のはらの生き物のドラマを表現する ◆音創りチーム◆ ストリングラフィ*により、のはらの生き物のドラマの「音」を表現する *ストリングラフィとは、作曲家水嶋氏考案の絹糸と紙コップで作る弦楽器。劇中で使用しています。 ・創作ミニドラマ「のはらものがたり」は、ワークショップ後構成台本を作成し、事前の練習は不要。当日のリハーサルで完成させます。 ・共演児童生徒は、オープニング後そのまま客席に戻り、観劇に参加します。			
出演者	下川 瑠美 土井 真波 下村 界			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 3 名 スタッフ: 2 名 合 計: 5 名	機材等 運搬方法	積載量: 1.85 t 車 長: 4.99 m 台 数: 1 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2.5	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	7時半	7時半～10時	13時半～14時45分	分	15時～16時半	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		1クラスを基本に40名以内で			
	本公演		基本250名まで			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>◇ステップ1:活動内容の説明、言葉と身体ウォームアップ、チーム分け◇</p> <p>◇ステップ2:2つのグループ活動◇</p> <p>★パフォーマンスチーム(オノマトペ・ムーブメントを活用した「のはらものがたり」のドラマ創作)</p> <p>★音造りチーム(ストリンググラフィ製作とイメージ音創作)</p> <p>◇ステップ3:グループ交流・まとめ◇</p> <p>※1クラス基本単位。指導は本作の演出家・俳優・WS講師にて行います。本番当日に、ワークショップ参加者は上演活動に参加、成果を発表し、上演活動を体験します。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>・児童生徒の発想を最大限に引き出し創造の喜びと自信の体験を目指します。</p> <p>・イメージを「言葉」や「声」「音」で発信・交流し、楽しさと自信を深める体験を目指します。</p> <p>・発信と受信の双方を体験。また、互いの意見やイメージを認め受容しあうことでより良い創作に結びつくことを体験的に理解する機会に。</p> <p>以上を達成するため、事前準備やフィードバックを学校側と連携しながら行います。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>【事前の準備の工夫】</p> <p>学校側の要望・学習との融合点・児童生徒の状況などリサーチ及び打ち合わせを綿密に行います。</p> <p>【プログラムの工夫など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ及び共演プログラムは、上演校ごとに個別に作成します。 ・ことば、音声、身体、楽器、リズム等々、多様な表現を励まし支援します。 ・進行上適切なスピードやことば、支援ポイント等を講師チームで共有して臨みます。 					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K154	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	I/J	区分	C区分
公演団体名	[C区分]特定非営利活動法人 アートインAsibina				制作団体名	特定非営利活動法人 アートインAsibina			

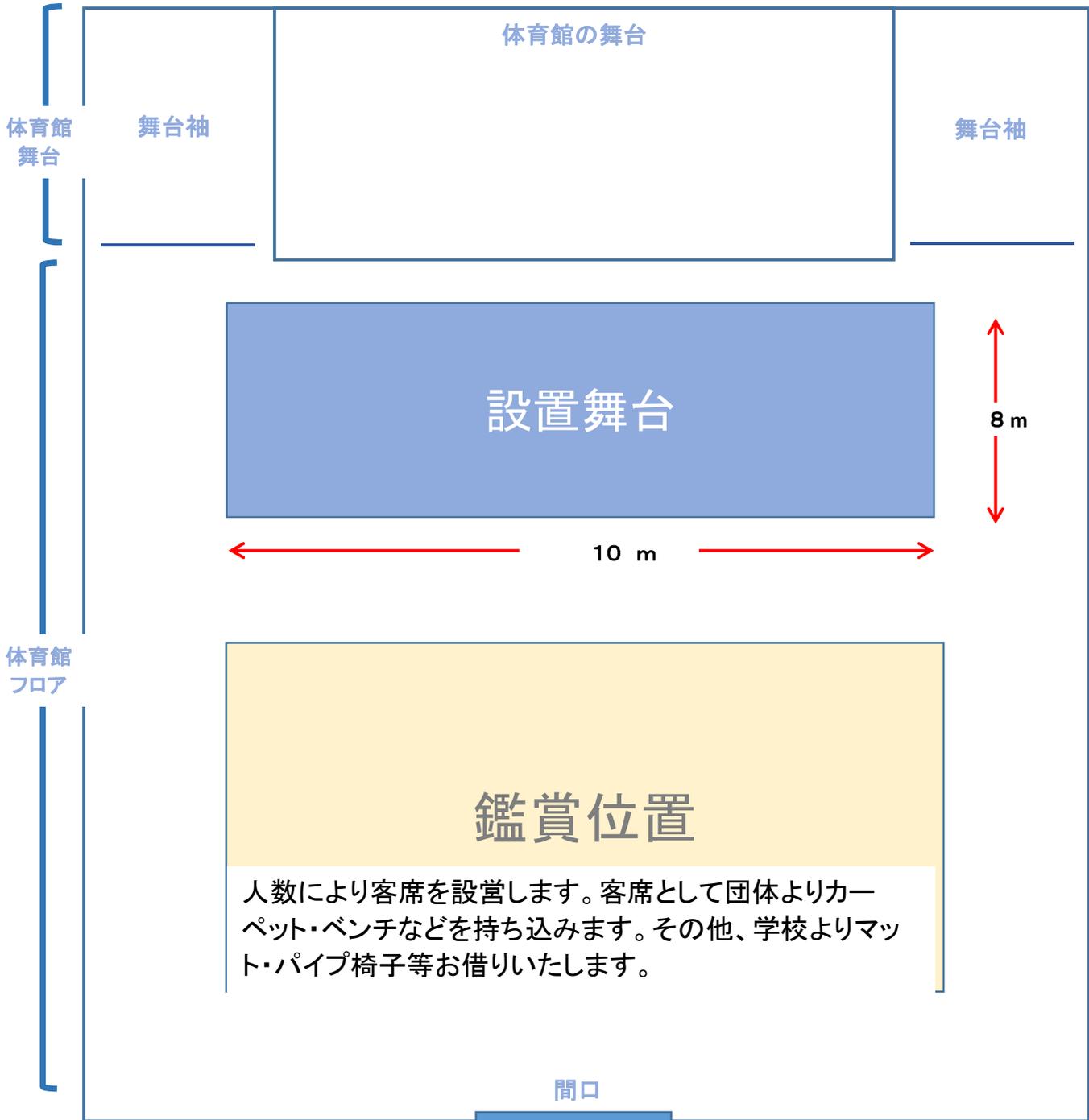
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	体育館に近い教室、なければ体育館ステージ上。				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	乗用車	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			乗用車は状況に応じての来校。荷物運搬の車種については相談可能				/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン(幅1,69 長さ4,99 高さ2,28)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			問わない				可	
	理由			それほど大きな道具はないので、条件に応じ対応可能				/	
	設置階の制限 *			問わない				—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5	高さ	1.8		可	
WSについて	参加可能人数	基本1クラスを基準に40名以内で					可		
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	中学年	高学年		可		
	所要時間の目安 単位:分	120分					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			基本250名まで				可	
	舞台設置場所 *			フロア				不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10	奥行	8	高さ	3	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *							—
		舞台袖スペースの条件 *							—
		緞帳 *			バトン *				—
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	暗転はありません		—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				—
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			15A2回路	※主幹電源の必要容量			可	
その他特記事項							応相談		
6.7月公演は、観客児童・生徒に熱中症の恐れありますので空調のある会場を希望します。							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5	高さ	1.8
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



* 体育館の広さや観客数により、体育館をパネルや卓球台で仕切って公演会場を小規模にする場合があります。